



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オヘスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
2/24 (月)				振替休日			欧：ユーロ圏CPI (1月)
2/25 (火)	▲ 200	+ 24,700	+ 24,500	国庫短期証券発行償還 (3M)	CP等買入 ▲ 200 社債等買入 ▲ 200 国債補充供給 + 4,300		米：消費者信頼感指数 (2月)
2/26 (水)	トン	▲ 4,000	▲ 4,000	流動性供給			
2/27 (木)	トン	+ 8,000	+ 8,000				米：GDP (4Q) 欧：ECB議事要旨 (1月開催分) ：ユーロ圏消費者信頼感指数 (2月)
2/28 (金)	+ 500	+ 4,100	+ 4,600				米：個人消費支出 (PCE) 価格指数 (1月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、国債発行等の要因により前営業日対比2兆2,400億円減少の527兆6,900億円から始まった。その後、国債発行や各種財政資金の支払い等の要因により増減し、21日は529兆5,700億円 (速報) で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初0.477%から始まり、その後横ばいで推移したが、週末に一部金融機関で試し取りが行われたことから0.478%まで上昇し、越週した。

ターム物は1W~3W物0.478%~0.650%のレンジ、1M~3M物0.600%~0.615%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、海外で24日にユーロ圏CPI (1月)、27日にECB議事要旨 (1月開催分)、米GDP (4Q) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.47 ~ 0.478
1M	0.55 ~ 0.70
2M	0.55 ~ 0.75
3M	0.58 ~ 0.80
6M	0.65 ~ 0.90

<レボ>

足許GCは週初+0.43%~+0.45%のレンジで出合い。18日の後場には+0.48%近辺まで上昇し、その後も週末まで+0.48%~+0.50%のレンジを中心に推移した。輪番オペがオファーされた19日も水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年460~468回債、5年155~174回債、10年355~370回債、20年110~130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.40近辺
CP 3M	0.55 ~ 0.65

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆7,300億円で、週間償還額の1兆5,000億円を上回った。発行残高は先週末時点の25兆3,154億円から、2月20日時点で25兆5,994億円へ増加した。発行市場は、石油製品、卸売業、建設業、小売業、ガス業、電気業などで大型の発行案件が見られた。2月19日に高田審議委員の講演でタカ派的発言があったものの、市場には想定内の内容と受け止められ、入札案件の発行レートは、a-1格相当の1か月物で0.50%台前半、3か月物は0.50%台後半から0.60%台前半と横ばい水準での出合いとなった。

来週の償還額は、3兆3,000億円となっている。発行市場は、月末週の大量償還に合わせて、活況なマーケットが見込まれる。発行レートは、1か月物で0.50%台前半、3か月物で0.50%台後半から0.60%台前半と、横ばい水準での出合いを予想する。

<TDB>

19日の1Y (1288回債) の入札は、最高落札利回り0.6228% (前回債0.5601%)、平均落札利回り0.6107% (前回債0.5429%) となった。

21日の3M (1289回債) の入札は、最高落札利回り0.3226% (前回債0.3211%)、平均落札利回り0.3096% (前回債0.3098%) となった。

来週の入札は28日に3Mが予定されている。